

特別講演 1

「CKD 診療における脂質管理の重要性」

福井大学医学部 腎臓病態内科学 教授

岩野 正之 先生

脂質異常症の治療は、心血管疾患（CVD）の発症予防に有効であるばかりでなく、慢性腎臓病（CKD）診療においても重要な柱の一つである。最近の報告から、スタチンが直接的に腎機能を改善させることや蛋白尿を減少させることが明らかとなった。しかし、1) CKD 患者の脂質管理における目標値、2) 腎機能低下時のスタチン使用法、3) スタチンによる横紋筋融解症発症率と安全な使用法、4) スタチンの種類による腎保護作用の相違点、などについては、未だ医師間での共通認識がない状態であると思われる。そこで、本講演では、「CKD 診療ガイド 2012」におけるステートメントを解説しながら、CKD 患者における実際的なスタチン使用法について紹介したい。